

授業科目	医療概論	単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	本校学校長				
科目目標	1. 医療の概念と変遷について理解する。 2. 現在の医療が担っている社会的役割を理解する。 3. 医療者の倫理について学ぶ。				
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
	1	2	世界・日本の医療の変遷 先史時代～古代～中世～近代～現代	講義	学校長
	2	2	疾病構造の変化 感染症・栄養不足との闘いから生活習慣病・がんと の闘いへ	講義	
	3	2	日本の保健医療サービス提供体制と医療保険制度	講義	
	4	2	現代求められている医療 在宅・高齢者ケア、救急・災害医療、医療安全	講義	
	5	2	医療者としての倫理 患者中心の医療、生命倫理、患者の権利擁護	講義	
	6	4	いのちの勉強会 臓器移植から命の大切さを考える	研修会参加	
	7	1	終講試験	試験	
評価方法	筆記試験 100 点				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	千代豪昭/黒田研二編 学生のための医療概論 医学書院				

授業科目	リハビリテーション		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	医師 (リハビリテーション科医師) 理学療法士 (リハビリテーション科理学療法士) 作業療法士 (リハビリテーション科作業療法士) 言語聴覚士 (リハビリテーション科言語聴覚士)					
科目目標	1. リハビリテーション医学の概念について理解する。 2. 各療法の具体的方法の概要を理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
医学 リハビリテーション	1	2	リハビリテーション概論 機能評価	講義	医師	
	2	2	脊髄損傷患者のリハビリテーション	講義		
	3	2	脳卒中患者のリハビリテーション	講義		
運動療法	4	2	運動療法とは	講義	理学	
	5	2	片麻痺および一側下肢障害のある患者の移動	演習	療法士	
療法 作業	6	2	作業療法とは	講義	作業 療法士	
療法 言語	7	2	言語聴覚療法とは	講義	言語 聴覚士	
	8	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点 (リハビリテーション医学 60 点、運動療法 20 点、作業療法 10 点、言語聴覚療法 10 点)					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院					

授業科目	公衆衛生学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師					
科目目標	1. 公衆衛生に関する統計および制度を理解する。 2. 健康を保持増進するための諸条件と組織的な保健活動を理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	公衆衛生とは 公衆衛生の歴史	講義	非常勤講師	
	2	2	公衆衛生の活動対象	講義		
	3	2	公衆衛生のしくみ 制度、国・自治体・専門職の役割、住民との協働	講義		
	4	2	地球規模の環境と健康	講義		
	5	2	生活環境と健康	講義		
	6	2	国際保健活動	講義		
	7	2	保健統計	講義		
	8	2	疾病予防と疫学	講義		
	9	2	感染症対策	講義		
	10	2	母子保健	講義		
	11	2	成人保健	講義		
	12	2	高齢者保健	講義		
	13	2	精神保健	講義		
	14	2	学校保健	講義		
	15	2	まとめ 終講試験	講義・試験		
評価方法	筆記試験 100点					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔2〕公衆衛生 医学書院					

授業科目	社会福祉	単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師				
科目目標	1. 社会における福祉の動向を理解する。 2. 社会保障制度について学び、社会資源の活用方法を理解する。				
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
	1	2	社会保障とは 社会保障の役割と機能 社会保障の体系図	講義	非常勤講師
	2	2	現在社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義	
	3	2	医療保障① 国民健康保険と被用者保険	講義	
	4	2	医療保障② 高齢者医療制度、保険診療のしくみ	講義	
	5	2	介護保障	講義	
	6	2	所得保障① 所得補償制度のしくみ、社会手当、労働保険制度	講義	
	7	2	所得保障② 年金保険制度	講義	
	8	2	公的扶助① 生活保護制度の目的と原理・原則	講義	
	9	2	公的扶助② 生活保護の種類と方法	講義	
	10	2	高齢者福祉の現状とサービス	講義	
	11	2	障害者福祉① 障害者の定義と実態、障害者福祉の理念	講義	
	12	2	障害者福祉② 障害者福祉制度の変遷と改たな法体系の整備	講義	
	13	2	児童家庭福祉の現状とサービス	講義	
	14	2	社会福祉実践と医療・看護との連携	講義	
	15	2	まとめ 終講試験	講義・試験	
評価方法	筆記試験 100点				
評価基準	60点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔3〕 社会保障・社会福祉 医学書院 椋野美智子・田中耕太郎著 はじめての社会保障 有斐社				

授業科目	関係法規	単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師				
科目目標	1. 保健医療に関する法規や制度を理解し、看護師の責任と義務について学ぶ。				
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
	1	2	生命の始期・終期を考える（法と倫理）	講義	非常勤講師
	2	2	現行法規の体系的理解	講義	
	3	2	保健師助産師看護師関係法	講義	
	4	2	保健師助産師看護師法	講義	
	5	2	医療事故	講義	
	6	2	保健衛生・予防衛生法規	講義	
	7	2	医療・薬事法規	講義	
	8	2	環境関係・公害関係法規	講義	
	9	2	労働環境・学校関係法規	講義	
	10	2	社会保障制度	講義	
	11	2	社会保険制度	講義	
	12	2	医療保険・介護保険	講義	
	13	2	社会福祉法規	講義	
	14	2	生活保護法	講義	
	15	2	終講試験	試験	
評価方法	筆記試験 100 点				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	前島良弘著 看護を学ぶための法と社会保障制度 ふくろう出版				

授業科目	勤労者医療概論		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師 臨床看護師 医師（治療就労両立支援センター所長） 医師 心療内科・精神科 事務長（治療就労両立支援センター） 理学療法士（治療就労両立支援センター所属） 本校事務長					
科目目標	1. 勤労者の健康と福祉について、社会の変化と発展の経緯・勤労者の健康対策機関の役割機能の側面から理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
A	1	2	労働衛生の定義、目的、歴史	講義	非常勤講師	
	2	2	我が国における労働衛生の現状	講義		
	3	2	労働衛生行政組織	講義		
	4	2	労働衛生関連法規と労働衛生の展開	講義		
	5	2	職業性疾患、過重労働による健康障害	講義		
	6	2	女性労働者の健康管理 トータルヘルスプロモーションプラン	講義		
	7	2	労働者のメンタルヘルス①	講義	医師 心療内科	
	8	2	労働者のメンタルヘルス②	講義		
B	9	4	脊髄損傷患者の看護 急性期から回復期までの看護の実際	講義	臨床看護師	
C	10	2	独立行政法人労働者健康安全機構の役割① 機構の目的と事業 勤労者医療と労災病院の役割	講義	本校事務長	
	11	3	独立行政法人労働者健康安全機構の役割② 治療就労両立支援センターの役割	講義	医師・事務長 治療就労両立 支援センター	
D	12	2	予防医療活動の実際	講義	理学療法士	
	13	2	職種別体操プリベンション	演習		
	14	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100点（A45点、B15点、C20点、D20点）					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	独立行政法人労働者健康安全機構 勤労者医療カリキュラム検討委員会：勤労者医療概論					